



ゆずり葉

にのみや学園
二宮町立山西小学校
学校だより 第 122 号
☎ 0463-72-3777

全力で取り組み、互いにたたえ合った運動会 5/30(木)

直前の数日間は天候に悩まされましたが、当日は晴天に恵まれ、まさに運動会日和となりました。保護者の方々も地域の方々も、朝から大勢いらしてくださり、開会式で子どもたちはとても高揚して、元気いっばいに応援歌を歌っていました。

徒競走 誰もが最後まで勝負をあきらめずに走り抜く真剣な姿と周囲のあたたかいかけ声がありました。

表現 一・二年生は体を大きく動かして元気いっばいに踊る姿、三・四年生はきびきびと、そして流れるような一体感あるフラッグさばき、五・

六年生は、地域からお借りした法被をまとい、漁師さながらの力強い動きとかけ声の圧倒的な迫力が印象的でした。

綱引き・色別対抗リレー 昼休みに練習し続けてきたバトンパスを生かし、抜きつ抜かれつのリレー。

皆の声援を受けて、最後まであきらめずに力いっぱい



この綱引き。どちらの競技も、見ている方も思わず力が入ってしまいました。閉会式 得点発表は、どうしても勝敗による気持ちの明暗がついてしまいましたが、今年のスローガンにある「正々堂々」「協力」の意味で、互いの気持ちをたたえ、ねぎらう拍手や声かけが自然に出てきたのは心があたたまりました。



体験から学ぶもの くづきあい・まちのこころ・ものづくり

一年生：やぶいたかたちからうまれたよ

色画用紙を手で破いてできる偶然の形を組み合わせ、一枚の絵をつくりました。子どもたちは色画用紙をビリビリと破いてできた形から、「ゾウさん」「くつ」「雲」「イルカ」「王冠」など、一人一人自由に様々なものを想像しました。当然、初めに手に取った色だけでは物足りず、思い思いに別の色画用紙を破いていきます。そうしていくうちに、ようやく絵全体のイメージが決まってきました。子どもたちのたくましい想像力には驚かされるとともに、最後まで何ができるのか分からないというのも楽しかったです。



二年生：初めての町探検 身近な地域の様子をおおまかに知るため、川勾神社を目指して歩きました。道中にはリング畑がありますが、北の地方でできると思われているリングが、

なぜ二宮でできるのか?という疑問につながります。さらに歩いていくと、山西プールと町民グラウンド、二宮西中学校に到達します。川勾神社に到達すると、鳥居の手前には戦没者の慰霊塔があります。境内では神輿の倉庫を興味深くのぞいたり、「茅の輪」をくぐる作法を試したりしている子もいました。川勾神社といえば、周辺地域の五つの神社の神様が磯町国府にある六所神社に集まる話など、神話的・歴史的な話題もあります。町を歩いていると、地理的にも文化的にも歴史的にも様々な特徴ある二宮町を実感します。



三年生：もっと知りたい 友だちのこと

国語で「相手が気持ちよく話してくれるような聞き手の態度」「相手の話をよりよく理解し、さらに興味深い話を引き出すための技術」を体験的に学んでいました。学習のモデルとなる担任の先生の話聞く中で、子どもたちは「話し手への視線の送り方」「興味・理解を示していることを表す態度」「理解を増してより深い話を引き出すためのメモ取り」など多くのポイントを意識せずとも自然に実践することができました。



四年生：盲導犬ユーザーとの出会い

町内にお住まいで盲導犬ユーザーの板寫さんをお招きし、日常生活についてのお話と盲導犬を誘導する体験の機会をいただきました。

板寫さんの日常生活に常に寄り添っている盲導犬は、歩行の誘導だけでなく、椅子の座面の位置がわかるよう示してくれていました。また、希望する子どもたちを相手にふれあってもおとなしく受け入れてくれました。



見えないことは不自由でも、協力してくれる人や ICT 機器の力を借りて様々なことができること、盲導犬の姿とささやかなサポート方法を知ることができたこと、このような素敵なことを教えてくださる方に出会えたことは、子どもたちにとって非常に貴重な機会となりました。

五・六年生：調理実習

【五年生】 ホウレン草のおひたしとゆでジャガイモをつくりました。初めての調理実習です。こんなときは身近にいる者同士見合っつて学ぶのが一番効果的で、慣れていない子たちが友達の調理している姿を見るさまは真剣そのものでした。

試食の際、ジャガイモが少々固いと感じたグループが少なからずありました。しかし、くしや菜ばしでつついて固さを感じながらゆで加減を判断する難しさを実感したことは、これからの調理に必ず生きてくると思います。



【六年生】 野菜炒めとスクランブルエッグをつくりました。野菜によって火が通るまでの時間が異なるため、固いものから順に炒めることが必要です。また、素材や献立が複数となる調理は、手順をしつ

かりイメージできていないとうまくいきません。夢中で調理していると、手順が抜けてしまう場合もあります。試食中、子どもたちからこんな声が聞かれました。「刻んだ野菜の炒める順番を考えるとフライパンに入れてしまったので、ニンジンが固かった。」「溶いた卵に牛乳を入れ忘れたので、ふわっと感がなくて、なんとなく固いかな?」



このように自分たちの調理を振り返ることができると、今後、自力でうまく調理することにつながる学びができたといえるのではないのでしょうか。

地域の大人たちによる 子どもたちへの温かいまなざし

日頃の「尽力」に対する感謝

子どもたちは毎日、道中で多くの大人に見守られながら安全に登下校しています。朝の旗振り当番をはじめとする保護者の方々、民生委員や地区長、防犯指導員などの役員の方々、各種ボランティア団体の方々、警察関係の方々、そして学区内にお住まいの有志の方々など、実に多くの方々に「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」というあたたかい送り迎えや、ときには「止まって!」「危ない!」という注意喚起をいただいています。

関係の皆様におかれましては、お勤めやご家庭の状況、ご自身やご家族の体調等を勘案しながら旗振り当番や見守りをしていただいていること、ま



ことにありがとうございます。

保護者・地域・学校の連携による見守り体制の把握と改善

さて、本校の「学校運営協議会」(以下、「協議会」)が設置されて6年目となりますが、当初より「子どもたちの校外における安全安心」は、「協議会」における大きな関心事の一つです。各地域での取組状況を把握する中で、旗振り当番の負担軽減や通学路の見直しなどの課題を、PTA(保護者)・「協議会」(地域)・学校の三者で検討したこともあり、

現在、「協議会」の活動を通じて把握している見守りボランティアの人数は50名あまりです。しかし、あくまでも各自のご厚意とご都合によるものであるため、「協議会」で把握していない方々がいらつしやるかもしれません。

皆様へのお願い

そこで、すでに見守り活動にご協力いただいている方々におかれましては、学校からの情報を直接把握したり急な連絡に対応したりすることができるよう、学校から配信している「マチコミメール」の登録をお勧めします。現在未登録でご希望がありましたら学校までご連絡ください。

また、一人でも多くの方々に、ご自分のペースで児童の見守りをしていただけたら、子どもたちの安全安心度はより高まります。ご協力いただける方がいらつしやいましたら学校までご連絡ください。

(山西小学校：0463-72-3777)



【山西小HP】